

応募作品点数・応募者数一覧表(年度別)

年度		平成17年度 第1回				年度		平成18年度 第2回				年度		平成19年度 第3回				年度		平成20年度 第4回			
部門		一般応募	入賞・入選	審査員等	展示	部門		一般応募	入賞・入選	審査員等	展示	部門		一般応募	入賞・入選	審査員等	展示	部門		一般応募	入賞・入選	審査員等	展示
絵画	点数	51	42	3	45	絵画	点数	48	45	3	48	絵画	点数	53	46	3	49	絵画	点数	65	65	5	70
	人数	46	42	3	45		人数	45	45	3	48		人数	46	46	3	49		人数	51	51	5	56
彫塑	点数	10	7	3	10	彫塑	点数	8	8	3	11	彫塑	点数	12	12	3	15	彫塑	点数	53	53	5	58
	人数	7	7	3	10		人数	7	7	3	10		人数	10	10	3	13		人数	37	37	5	42
工芸	点数	53	47	1	48	工芸	点数	41	33	2	35	工芸	点数	61	49	4	53	工芸	人数	37	37	5	42
	人数	42	37	1	38		人数	28	24	2	26		人数	41	35	3	38		人数	151	147	19	166
写真	点数	76	76	3	79	写真	点数	78	59	3	62	写真	点数	83	53	3	56	写真	点数	66	54	4	58
	人数	44	44	3	47		人数	44	39	3	42		人数	49	35	3	38		人数	39	35	4	39
書道	点数	43	43	2	45	書道	点数	35	35	3	38	書道	点数	31	31	3	34	書道	点数	27	27	5	32
	人数	43	43	2	45		人数	34	34	3	37		人数	29	29	3	32		人数	24	24	5	29
合計	点数	233	215	12	227	合計	点数	210	180	14	194	合計	点数	240	191	16	207	合計	点数	211	199	19	218
	人数	182	173	12	185		人数	158	149	14	163		人数	175	155	15	170		人数	151	147	19	166

平成21年度 第5回					平成22年度 第6回					平成23年度 第7回					平成24年度 第8回								
部門		一般応募	入賞・入選	審査員等	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示
絵画	点数	58	50	5	55	絵画	点数	65	55	6	61	絵画	点数	60	53	8	61	絵画	点数	53	39	7	46
	人数	49	45	5	50		人数	55	53	6	59		人数	52	52	8	60		人数	44	39	7	46
彫塑工芸	点数	44	44	6	50	彫塑工芸	点数	48	46	7	53	彫塑工芸	点数	50	50	7	57	彫塑工芸	点数	51	51	8	59
	人数	31	31	6	37		人数	33	33	7	40		人数	36	36	7	43		人数	35	35	6	41
写真	点数	73	55	7	62	写真	点数	66	58	6	64	写真	点数	62	55	7	62	写真	点数	79	68	8	76
	人数	45	40	7	47		人数	38	33	6	39		人数	34	32	7	39		人数	43	40	8	48
書道	点数	28	28	5	33	書道	点数	23	22	5	27	書道	点数	20	20	5	25	書道	点数	24	24	8	32
	人数	28	28	5	33		人数	22	21	5	26		人数	20	20	5	25		人数	24	24	8	32
合計	点数	203	177	23	200	合計	点数	202	181	24	205	合計	点数	192	178	27	205	合計	点数	207	182	31	213
	人数	153	144	23	167		人数	148	140	24	164		人数	142	140	27	167		人数	146	138	29	167

平成25年度 第9回					平成26年度 第10回					平成27年度 第11回					平成28年度 第12回									
部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	特別展示	展示
絵画		44	44	10	54	絵画		40	40	9	49	絵画		47	47	11	58	絵画		43	43	11	3	57
彫塑工芸		27	27	7	34	彫塑工芸		28	28	7	35	彫塑工芸		28	28	7	35	彫塑工芸		27	27	7	1	35
写真		43	39	6	45	写真		44	40	7	47	写真		41	35	6	41	写真		33	33	5	2	40
書道		22	22	6	28	書道		23	23	9	32	書		29	29	9	38	書		24	24	11	1	36
合計		136	132	29	161	合計		135	131	32	163	合計		145	139	33	172	合計		127	127	34	7	168

平成29年度 第13回					平成30年度 第14回					令和元年度 第15回					令和2年度 第16回										
部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	特別展示	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	特別展示	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示
絵画		49	42	11	3	56	絵画		50	44	8	3	55	絵画		43	43	43	絵画		35(7)	35	12	47	
彫塑工芸		26	26	8	2	36	彫塑工芸		36	36	7	2	45	彫塑工芸		26	26	26	彫塑工芸		23(0)	23	7	30	
写真		33	33	5	2	40	写真		32	27	5	2	34	写真		33	30	30	写真		37(9)	37	6	43	
書		20	20	11	1	32	書		19	19	11	2	32	書		26	26	26	書		19(4)	19	11	30	
合計		128	121	35	8	164	合計		137	126	31	9	166	合計		128	125	125	合計		114(20)	114	36	150	

(高校生)

令和3年度 第17回					令和4年度 第18回							
部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示	部門		一般応募	入賞・入選	無鑑査	特別展示	展示
絵画		36 (10)	36	9	45	絵画		39 (10)	39	10	2	51
彫塑工芸		31 (4)	31	8	39	彫塑工芸		30 (9)	30	9	1	40
写真		64 (32)	49	7	56	写真		58 (20)	50	7	1	58
書		25 (8)	25	10	35	書		26 (11)	26	9	—	35
合計		156 (54)	141	34	175	合計		153 (50)	145	35	4	184

(高校生)

(高校生)

第17回・第18回市展「いが」部門別出品者数一覧

【資料1-2】

令和3年度 第17回				
部門	一般応募	入賞・入選	無鑑査	展示
絵画	36(10)	36	9	45
彫塑工芸	31(4)	31	8	39
写真	64(32)	49	7	56
書	25(8)	25	10	35
合計	156(54)	141	34	175

(高校生)

令和4年度 第18回					
部門	一般応募	入賞・入選	無鑑査	特別展示	展示
絵画	39(10)	39	10	2	51
彫塑工芸	30(9)	30	9	1	40
写真	58(20)	50	7	1	58
書	26(11)	26	9	—	35
合計	153(50)	145	35	4	184

(高校生)

第18回市展「いが」 来場者アンケート（抜粋）

【3月17日（金）】

今回の展覧会について、ご感想をお書き下さい。

- ・各部門において若い方達の作品が多くあり、良い方向だと思えます。
- ・ギャラリーコンサートのピアノ演奏最高でした。
- ・少し座る場所があればありがたいです。
- ・全体的にとってもレベルが高い。
- ・亀山市の市長賞の作品も展示してあり、刺激になって良いと思いました。素敵なピアノ演奏も聴けて、色んな分野の芸術に触れられた良い1日になりました。
- ・高齢者のために1カ所座って見るソファ等の設置をお願いしたいです。
- ・力作揃いで見応えがありました。時間を惜しまず制作された作品に勇気をもらいました。
- ・4歳の子どもと一緒に来ましたが、絵画や写真などに思っていたよりも興味深そうに鑑賞していました。乗り物が好きなので「ダンボール機関車」は展示室に入るなり喜んでいました。
- ・全体的に部屋が暗かった、もう少し明るくしてほしかった。高齢者の私にとっては見にくかった。
- ・夕方人で少ないときだったので、ゆっくり見られました。照明がよく見やすかったです。

あなたが、伊賀市の文化芸術振興のために必要であると思う取組などについてお考えをお聞かせください。

- ・若い人が多く出品されて、活気があり、とても将来的にいいと思う。
- ・旧市庁舎に美術館を創るとかの話はどうなっているのでしょうか？
- ・旧市役所庁舎など今ある文化財を維持しながらイベントなどの催し物を定期的に行うことで、多くの人に知ってもらえるのが大事だと思います。また未来を担う子どもたちに対しても伊賀市が持つ文化を受け継いでいってもらえるように教育の中で触れられる機会を増やして実際に体験できる回数を増やすことが必要だと思います。

【3月18日（土）】

今回の展覧会について、ご感想をお書き下さい。

- ・高校生の応募も多くあり、レベルの高さにおどろきました。
- ・みなさん力作で感動しました。途中休憩するイス等もう少しあれば良いなと思いました。
- ・大変すばらしく、伊賀にこのような芸術家の人が多数みえます事に伊賀市の文化の高さに感動しました。
- ・会場が広いので、ゆっくり座って鑑賞できるようにイスがあるといいです。

- ・ 学生さんが作品を多く出品してくれたので、これから市展も活気が出てきてとても良い事だと思います。
- ・ 書以外は芸術に触れる機会がないので、良い時間を過ごせました。絵画部門は特に魅せられる作品ばかりでした。
- ・ 学生の出品が多くて若いパワーが伝わってきた。素晴らしいと思いました。

あなたが、伊賀市の文化芸術振興のために必要であると思う取組などについてお考えをお聞かせください。

- ・ 市長をはじめ行政のトップの関心の高さが理解できます。
- ・ 旧市役所をギャラリーにするとかの取組をされてはどうか。文化会館では少し遠い気がする。

【3月19日（日）】

今回の展覧会について、ご感想をお書き下さい。

- ・ 絵画展示の横が写真の部であったので、区別した方が良かった。
- ・ 各ブースで総評されていることはよく理解でき良かった。
- ・ どの作品も力作で感銘した。素晴らしい作品ばかり。
- ・ なかなか見に行く機会が少ないので、今回ボタニカルアートのワークショップを体験させて頂き、見せて頂くことが出来て良かったです。
- ・ 今年はレベルが高かった様に思います（特に絵画）
- ・ 彫塑工芸の部、審査基準がわからない。
- ・ 高齢者の生きがい
- ・ 工芸作品の出品が少ないし、作品と台がちくはぐな場所があって展示を少し考えて欲しい。パンフレットは立派です。
- ・ 高校生の参加が多く特に良い。将来性がある。
- ・ 市展のレベルがとても向上していて、楽しく拝見しました。展示金具が見えたりプレートが歪んでいるのが少し残念です。

あなたが、伊賀市の文化芸術振興のために必要であると思う取組などについてお考えをお聞かせください。

- ・ 学生の部、社会人の部で30号位までの小品の部等があればどうでしょうか？キッチンカー等もあってもいいと思います。19（日）ハイトピアが盛り上がっていたので、市展の入場者はどうだったのか？
- ・ 情報発信が少ない。
- ・ 若い人が参加できるような、もっと呼びかけをお願いします。アートは自由ですし、どちらかというとも年配の方の来場が多いと思います。来場者人気投票があればいいと思います。

【3月20日（月）】

今回の展覧会について、ご感想をお書き下さい。

- ・ 審査員の説明ビデオが良かった。
- ・ 写真について、市展いがの近年の入賞作品はスナップと風景をバランス良く入賞させていたが、今回はスナップ重視でバランス感覚が欠如しています。他市の市展・県展ではスナップ重視ばかりで伊賀の市展のバランス感覚に期待していたので残念です。特別展示は隣町の名張市の市展の入賞者を是非とも展示して欲しいです。
- ・ 審査員の講評ビデオが流れていて、分かりやすく良かった。

あなたが、伊賀市の文化芸術振興のために必要であると思う取組などについてお考えをお聞かせください。

- ・ 伊賀市が所蔵する芸術作品の展示や、伊賀市出身の芸術家の作品紹介が出来る美術館の早期建設
- ・ 会場の交通便（公共）が悪い。会場内には休憩する場所、2・3人程度が座れる椅子を設置してみても！足の不便な方のためにも。
- ・ 美術館を伊賀に！
- ・ オペラなど芸術に取組の少ない催し物を是非お願いします。
- ・ 文化芸術・伝統文化が豊かな伊賀市ですので、市展をはじめ様々な展示会の開催や身近にチャレンジできるような教室等があると参加しやすいかと。

【3月21日（火・祝）】

今回の展覧会について、ご感想をお書き下さい。

- ・ 出展されている作品は素晴らしかった来年も見に来たい。
- ・ 初めて来ました。色んな作品があり楽しかったです。「書」のコーナーは今まで関わったことが無かったので新鮮でした。
- ・ 高齢者がゆっくり見れるように座れる場所、椅子の設置をしてほしい。
- ・ 照明が良かった。

あなたが、伊賀市の文化芸術振興のために必要であると思う取組などについてお考えをお聞かせください。

- ・ 一般の方にも体験できるようなイベントがあれば良いかと思えます。
- ・ 市をあげて、アートをあちこちに若い人を巻き込んで行く。
- ・ 地域で永く続いたお祭りや昔からの行事が後継者不足で中止や廃止になっています。何かの形で保存（残して）いただければ良いのですが。

第18回伊賀市民美術展覧会（市展「いが」） 運営について報告事項

●募集要項

絵画

- ・額の規定について、幅や厚さの規定が無い。

出品規定「原則額装とする（一辺の幅は5cm以内とする）」とカッコ内を追記することについて

年齢制限

2月末ごろ 子どもが中学2年生の親からの要望

- ・なぜ要綱で出品できる年齢の下限を定めているのか。中学生から出品できるようにしてほしい。（高校生からしか出品できないのはなぜか。なぜ中学生は出品できないのか）

→公募展の形式をとっているため、ある程度のクオリティを求めている。（選外作品が経験の少ない中学生の作品ばかりになるのは避けたい）大人の作品と子供の作品では審査基準も異なってくる部門もある。子どもの大人の境目を義務教育修了後の高校生から としている。

→→なぜ中学生を大人の基準で審査してはいけないのか。今高校生と大人の審査が分かれていないのであれば、下限を中学生に引き下げることに何の問題があるのか。（上記回答に戻る）市の展覧会であるのに高校生は出品出来て、中学生が出品できないのはおかしくないか。

→→→来年度運営委員会に上げると回答した。

年齢制限・中学生部門について

●展示

写真

- ・ゴム付き釘が小さかったため、前年度同様だるまピンを使用。だが、組写真パネルは重さで落ちそうになる。このままピンで展示を続けると落下が心配である。パネルに紐をつけてもらい絵画のようにワイヤーで吊下げ展示の方が安全ではないかと思う。高さも調整しやすい。同じワイヤーなら作品に響かないので良いと思う。

針部分がさらに長いもの・細い釘等での展示について

無鑑査について

- ・募集要項や図録に書かれている無鑑査の規定を満たしていない人が無鑑査として展示しているのはなぜか？

募集要項等記載「無鑑査とは」

同一部門において市展「いが」賞（あるいは市長賞）、議長賞、教育委員会賞の受賞が計4回以上の人（市展「いが」賞・市長賞の受賞は必須）の中から、伊賀市民美術展覧会運営委員会の承認を受けた人です。

→例年、上記規定を満たした人だけでなく毎年「市内の運営委員経験者・審査員経験者」にも無鑑査と

して出品の依頼をしている。「伊賀市民美術展覧会に関する内規」内「(無鑑査の基準) 第3条 3 その他運営委員会が特に必要と認めた者。」に該当する。

募集要項の「◇展示作品」について

市内運営委員経験者・審査員経験者への出品依頼について

伊賀市民美術展覧会に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、伊賀市民美術展覧会に関し必要な事項を定める。

(無鑑査の導入)

第2条 第6回伊賀市民美術展覧会から無鑑査制を導入する。

(無鑑査の基準)

第3条 無鑑査の対象となる者の基準は、次に掲げるいずれかに該当する者とする。

2 第1回伊賀市民美術展覧会から、同一部門において、市長賞を1回以上受賞した者で、市長賞、議長賞、教育委員会賞の3賞を4回以上受賞した者のうち、伊賀市民美術展覧会運営委員会において承認を受けた者とする。ただし、この内規の制定以前の、第1回から第3回までの彫塑部門及び工芸部門における3賞受賞者は、第4回以降の彫塑工芸部門における3賞受賞者と同様とみなす。

3 その他運営委員会が特に必要と認めた者。

(無鑑査の対象期間)

第4条 無鑑査となる者は、3年連続して出品しないときは、その資格を失う。ただし、運営委員会が出品できない特別の事情があると認めた場合はこの限りではない。また、無鑑査となる者は3年が経過した後も一般としての応募はできないものとする。

(その他)

第5条 この内規に定めるもののほか、伊賀市民美術展覧会に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成27年4月16日から施行する。